

-(으)나 마나

~してもしなくても同じだ

やる意味がないと断じる形です。結果が最初からわかっている場面で使われます。

■ つけ方

語幹	形	例
パッチムなし	-나 마나	보다 → 보나 마나
パッチムあり	-으나 마나	묻다 → 묻으나 마나
ㄹ 語幹	-나 마나	알다 → 아나 마나
よく使う語	보다・묻다・하다	確認の動詞
後ろ	結果は同じ	뻔하다・같다
分かち書き	마나 は離す	보나 마나

■ 使い方と注意

やる意味がないと述べます。보나 마나 뻔한 결과예요（見るまでもなく明らかな結果です）。

確認の動詞と組むのが典型です。보다（見る）、묻다（尋ねる）、말하다（言う）。「確かめるまでもない」という文脈になります。

보나 마나 が決まり文句です。「見るまでもなく」という意味で、副詞のように文頭に置いて使えます。

마나 は말다 から来ています。「するかしないか」の対比で「どちらでも同じ」を作る仕組みで、-(으)ㄹ까 말까 と同じ発想です。

■ 例文

- 1 보나 마나 또 늦을 거예요.
見るまでもなく、また遅れるでしょう。
- 2 물어보나 마나 안 된다고 할 겁니다.
聞くまでもなく、だめだと言うでしょう。
- 3 가나 마나 문은 닫혀 있을 텐데요.
行くまでもなく、ドアは閉まっているはずですが。
- 4 이런 식으로는 해 보나 마나입니다.
こんなやり方では、やってみるまでもありません。
- 5 직접 만드나 마나 결과는 비슷할 거예요.
自分で作るまでもなく、結果は似たようなものでしょう。
- 6 먹으나 마나 배가 찰 것 같지 않다.
食べるまでもなく、お腹がいっぱいになりそうにありません。

■ 紛らわしいもの

-(으)ㄹ까 말까
迷いを表します。나 마나 は結果が同じだという断定です。
갈까 말까（迷い） / 가나 마나（無意味）

-아/어 봤자
「してみたところで」で無駄を示します。ほぼ同じ働きです。
가 봤자（無駄） / 가나 마나（同じ）

-(으)ㄴ들
反語を伴う仮定です。나 마나 は結果の同一性を断じます。
후회한들（反語） / 보나 마나（結果同じ）

■ まちがえやすい点

- ✕ 보나마나
○ 보나 마나
分かち書きします。
- ✕ 알나 마나
○ 아나 마나
ㄹ 語幹は ㄹ が落ちます。
- ✕ 좋으나 마나
○ 形容詞には使いにくい
行為の無意味さを言う形です。